

ひらおか

安全・安心・やすらぎの地域づくりを



平岡地区町内会連合会

会長 松尾 隆

平岡地区町内会連合会
 清田区平岡7条3丁目9-25
 平岡地区会館内
 ☎ 883-7100
 発行責任者 松尾 隆
 編集責任者 妹尾 裕司
 渡辺綱太郎

希望に満ちた新しい年をご健闘のうちにお迎えになられた事と心よりお喜び申し上げます。

昨年は余りにも悲しすぎる年でした。今年は笑顔あふれる明るい年になってほしいと願っております。

もう一年になる東日本大震災は、私達にいろいろな教訓を与えてくれました。

これをきっかけに地域の絆をしっかりと結び、高齢者・子供達はもとより誰もが笑顔溢れる暮らしを実現できる年になりますよう努めてまいります。

災害は、何時どんな形で現れるか予知できませんが、その被害を最小限に食い止める事は出来ると思います。いつ起るかもしれない災害に対して、日頃から「自分

たちの地域は、自分たちで守る」という防災意識を持って、いざという時には、地域みんなで互いに協力し助け合う事が、大きな力になり食い止めることにつながると思っています。

地域では、地震や台風等の災害時に備えた体制づくり等私たちの暮らしに密着した活動が展開されております。

特に身近な活動として2月11日(土)・12日(日)に、清田区の災害時助け合い活動研修会とタイアップして平岡地区町内会連合会が「避難場所設置とその運営」をテーマに、平岡小学校で一泊実践訓練を実施しました。平岡地区から11名の方の参加があり、寝袋、毛布、ダンボール等にくるまって

子供さん4名を含む43名の方が体育館、視聴覚教室に泊まりました。主な訓練内容は、宿泊、怪我人の救助搬出、AED・心肺蘇生、怪我手当、火災防止講座(家庭における電気配線、こんろ・ガス器具等の取扱い)、夕食100人分の炊き出し等でした。



約280名が訓練に参加されました

札幌市白石区のマンションで40代の姉と知的障害者の妹が遺体で見つかった「孤独死」がありました。このような悲惨な死をなぜ防げなかったのかと残念に

思っています。亡くなったご本人、行政、ライフラインの業者、福祉関係者、地域等いろいろと取りざたされてはいますが、「困った場合は、助けを求めること。地域の近所同士が支え合う関係を築くことが大切」だと考えます。

当地区町内会連合会の福祉厚生部及び福祉のまち推進センターにおいては、町内会・自治会と「見守り、

助け合い」の研修を今後進めて参ります。そして、安全で安心で誰もがやすらぎを感じるまちづくりを努めて参ります。ご協力に対し感謝を申し上げますと同時に今後とも支援ご協力をお願いいたします。

冬の宿泊防災訓練のようす (2/11~2/12実施)



心肺蘇生訓練



応急手当訓練 (三角巾法)



子ども達も参加しての消火器訓練



避難撤出訓練

結びになりますが、皆様のご健勝、ご多幸、ますますのご発展をご祈念申し上げます。

《防災シリーズ No.2》

防災に強いまちづくりを



きよたまちづくり区民会議
幹事長 林 進一

東日本大震災・津波・原発事故など未曾有の災害が日本中を震撼させました。きよたまちづくり区民会議では、平成23年度テーマを「防災」とすることを決定し取組を進めてきました。

万が一、地震などの災害が発生した際に、その被害を最小限に食い止めるには、日頃から皆様の家庭やお住まいの地域で、災害に対する備えがきちんとされていることが大変重要です。

区民会議がすべきことは、防災そのものを深く考えることではなく、各家庭や地域などで災害に対する備えが十分になされている状態となるため、区民に対して様々な働きかけを行うこととしました。

- ① 各家庭で、家族の役割分担、連絡方法や集合場所の確認などを話し合う「家族防災会議」が行われている状態
- ② 各家庭で、家族の役割分担、連絡方法や集合場所の確認などを話し合う「家族防災会議」が行われている状態
- ③ 単町レベル・地区レベルで防災訓練や避難訓練などが行われ、事前の備えの大切さについて意識が高まっている状態
- ④ 各地区で、災害時要援護者支援のような、地域で支え合う体制づくりが進められている状態
- ⑤ 地区単位や区単位で、災害が発生した際の体制などについて継続的に話し合わせ、情報が共有されている状態

- ・平成23年度の取組状況
- 区民会議通信の発行
- ・検討テーマ「防災」に関する取組状況を、区民会議の活動を周知
- 防災アンケートの実施
- ・目的：各家庭や地域へどのような働きかけを行うか検討するため
- 清田区民フォーラム2011の開催
- ・清田区の誕生日である11月4日に、『防災』をテーマとし、まず、先に実施した「防災アンケート」の結果について林進一幹事長から説明。
- パンフレット・冊子の発行(予定)
- ・防災アンケートの結果とともに、地域防災力の向上のための内容を掲載し、町内会を中心に配布する。
- ・掲載内容
- ① 防災アンケートの結果とアンケートで知りたいとされた内容の紹介
- ・防災意識や防災対策、非常持出品リスト、避難所の説明など
- ② 防災訓練について
- ・防災アンケートの結果(防災活動)と、防災訓練に参加していない理由や実施状況、自主防災活動の必要性など
- ③ 地域の結びつきの重要性について
- ・防災アンケートの結果(緊急時に助けを求め、先や手伝いのできること)、区民フォーラム講演内容、災害時要援護者支援事業など
- ④ 地域における防災の取組事例について
- ・災害時要援護者支援事業(北野地区)
- ・冬の地震避難体験訓練(平岡地区) など
- 平成23年度に実施・予定している「防災」に対する取

組状況を説明いたしました。この活動を通して、各家庭や町内会の取組が促進され、地域防災力の向上につながればと願っております。平成23年度は、清田区の防災意識の実態を把握し、啓発を始めたにすぎませんので、平成24年度においても区民会議では、区民会議がめざす目標像(災害に対

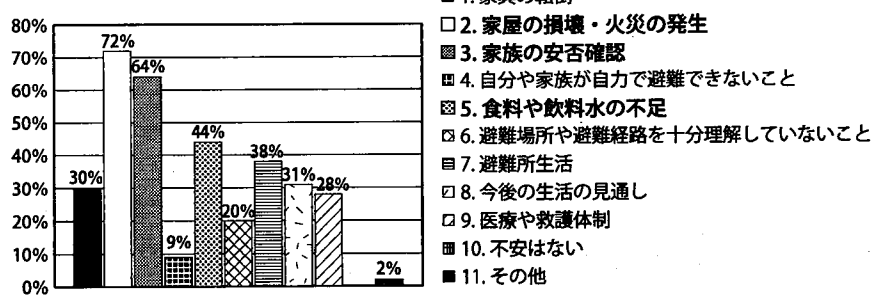
する備えが十分になされている状態)に達するための、より実践的な取組を検討してまいります。これからも、きよたまちづくり区民会議の活動に対しご協力の程宜しくお願いたします。

自分たちのまちは
自分たちで守る

平岡地区の防災意識の実態は!?

きよたまちづくり区民会議の防災アンケート結果から
(昨年9月実施…一般家庭用から抜粋)

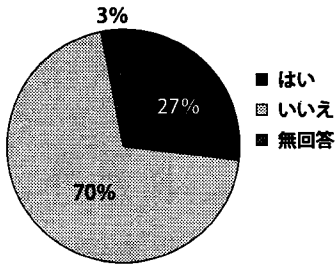
問1 災害が発生した場合、特に不安に思うことはどれですか(複数選択可)。



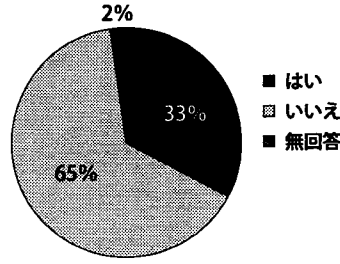
- 1. 家具の転倒
- 2. 家屋の損壊・火災の発生
- 3. 家族の安否確認
- 4. 自分や家族が自力で避難できないこと
- 5. 食料や飲料水の不足
- 6. 避難場所や避難経路を十分理解していないこと
- 7. 避難所生活
- 8. 今後の生活の見通し
- 9. 医療や救護体制
- 10. 不安はない
- 11. その他

問2 あなたの家庭では、災害に備えてどのような対策をしていますか。

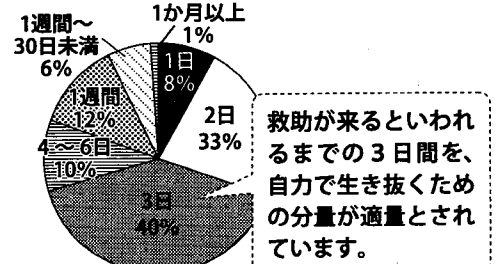
2-1 家具の転倒・落下防止措置をしていますか。



2-2 非常用食品・飲料水を日頃から準備していますか。

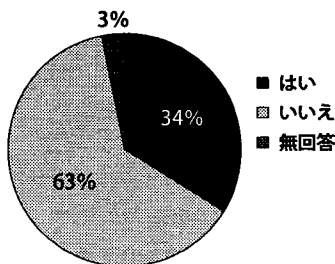


2-3 左記質問で「はい」と回答した方はそれは何日分くらい準備していますか？

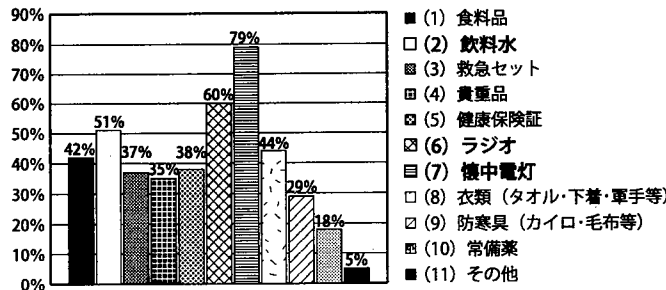


救助が来るといわれるまでの3日間を、自力で生き抜くための分量が適量とされています。

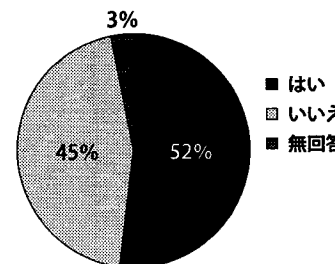
2-4 非常持出品をすぐに持ち出せるよう準備していますか。



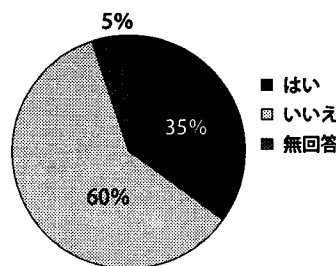
2-5 左記質問で「はい」と回答した方は、どんな内容を準備していますか（複数回答可）。



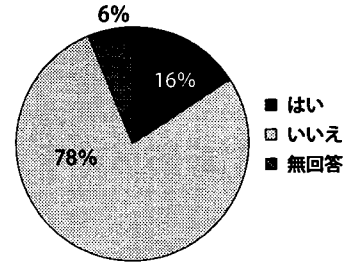
2-6 避難場所や避難経路を知っていますか。



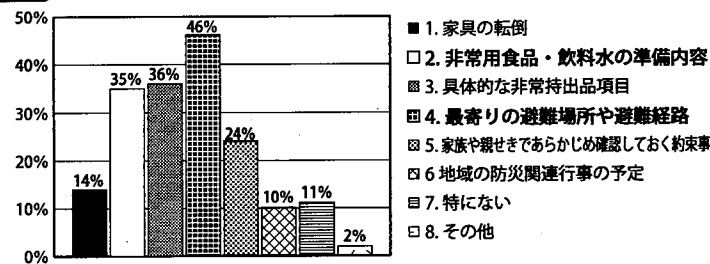
2-7 災害が発生した時の連絡方法や集合場所などについて、家族で話し合っていますか。



2-8 自宅の耐震性の点検や補強をしていますか。

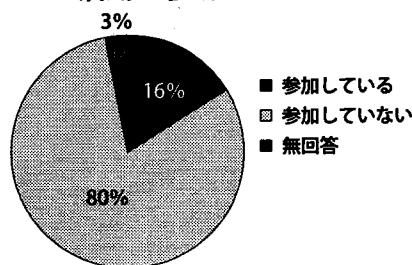


問3 今後の災害対策として知りたいことは何ですか（複数選択可）。

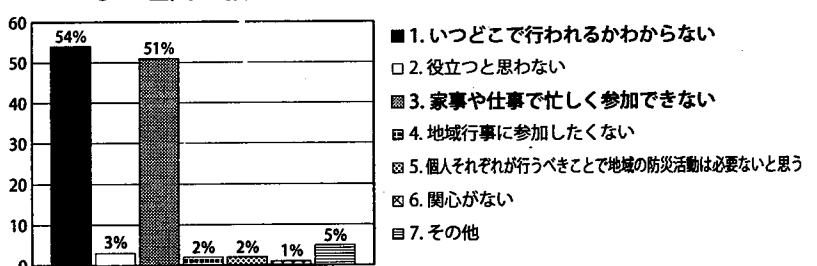


自分の避難場所は、特定の避難所に決められていません
最終の避難場所は家族で話し合っ
て決めておきましょう。

問4 あなたの家庭では、地域で行われる避難訓練等の防災活動に参加していますか。



4-2 また、左記質問で参加していないと回答した方は、参加していない理由を教えてください（複数回答可）。



楽しく あしやべりして 手も動かして

サークル名 ソルトブラム
発 足 7年位前に、清田
体育館の卓球教室で知り
合った数人が、パッチワー
クをしたいと集まり出し
たのがスタートです。

活動日 毎週月曜日

10時から3時

参加者数 2、3人の日もあ
れば、多くて8人位集まっ
て塩梅宅が狭くなること
もあります。

指導者 自己流で……と
けんそんする指導者の塩
梅さんは、パッチワーク
歴20年位。みんなで話し
合って作りたいものを決
めています。

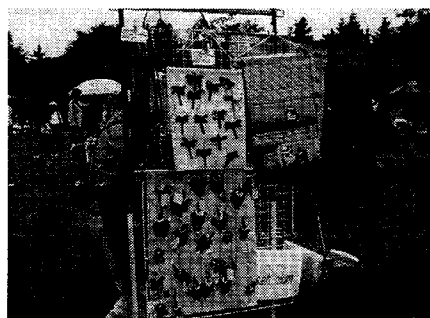
活動の特徴や目標

とにかく楽しく、ワイワ
イとおしゃべりして、政
治・経済から健康法やら
料理のアイデアやら、花
や野菜の育て方など、様々
なジャンルの話題で盛り
上がっています。時々折
り紙の講習会もあります。
問い合わせ先

平岡9条1丁目13-17
塩梅珠子 882-3977



毎年恒例…芸術の森フリーマーケット

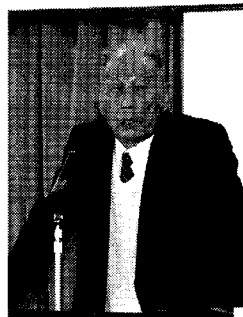


作品のごく一部紹介



ソルトブラムの仲間たち

12年前カラオケ大会でス
タートした地区老連最大の
お楽しみ行事が、12回を経
た現在、各単位老人クラブ
が4ステージを受け持ちそ
れぞれが活気あふれる演技
を表現しました。
発表内容も、カラオケ、
コーラス、舞踏、歌舞劇と
バラエティーにとみ客席を
退屈させない。「……ひと
えに行事を支える役員さん
の熱心な反省と新たな取り
組みへの意欲の成せる技：
……」と「老連協」の会長の
重責を勤めてきた中鉢彰さ
んの言です。
今年ステージには、アコー
デオ、三味線、ギター、
ウクレレなどの楽器が登場
したり、無伴奏の民謡や童



第12回 平岡地区「老連協」主催 地区会館満席の盛会 「演芸発表会」



34番 秋田節(しんたく養生会)



14番 華を放とう(老人クラブ)

謡などの合唱の発表があり、
地区会館A・Bホールいっ
ぱいの客席を大いに沸かせ
ました。
「会場が狭いね。希望す
れば誰でもこられる行事に
なったら高齢者の枠を越え
て楽しめますね」……参加
者の声……

まどか

雪面をわたる風に温もりが
感じられる頃になりました。
暦ではまだ彼岸前の「……名
み……」の春です。梅林公園で
は北風の斜面で、緑化協会の
人の花芽の剪定を終えればか
りです。

「広報ひらおか」37号(4
ページ)をお届け致します。
36号(昨年9月発行)がやあ
なく12ページ立ての編集にな
り年間予算の関係から今回は
4ページにせざるを得ません
でした。まずはそのことをこ
ろ承ください。

今や日本は東日本大震災を
教訓として、行政・民間組織
挙げての被災をより少なくす
るための意識の高揚と体制作
りに知恵と力を注ぎ始めてい
ます。札幌市では、「広報さつ
ぼろ」の3月号の巻頭で上田
市長が「災害に強いまちへ：
と題して災害対策の強化を強
調しています。

37号では、災害対策にいち
早く取り組んだ「清田まちづ
くり区民会議」の取り組みを
特集してみました。近隣・家
庭で話題にして戴けたら幸甚
に思います。
(編集部)